

平成12年8月10日
気 象 庁

三宅島の火山活動について

三宅島の火山活動に関する火山噴火予知連絡会の検討結果は次のとおりです。

三宅島では、本日8月10日朝山頂火口から噴火がありました。

噴火は、6時30分頃から始まり、7時頃から次第に活発になり、噴煙の高さは、3000mに達しました。火山性微動や空振の記録などから見て、活発な噴火活動は、10時頃まで続きました。

上空からの観測によると、噴火場所は、山頂火口の南東部で、7月14～15日の噴火とほぼ同じ場所でした。火口の形状には大きな変化はありませんでした。

また、今回の噴火に伴い、おおむね山頂が沈降する向きの傾斜変化が観測されましたが、次第に鈍化しています。

今回の噴火は、7月14～15日の噴火に比べ、微動、空振、噴煙、傾斜変化から見て、噴出活動がより活発だったと考えられます。

噴煙の状態、傾斜変化等から見て、現在のところ今朝からの噴火活動は終息の方向にあると考えられますが、今後も同様の山頂噴火が発生するおそれがありますので、三宅島山頂では引き続き注意が必要です。山麓での噴火の可能性はありませんが、火山灰には注意が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。